

事業名 団塊世代等社会参加促進モデル事業「子育てサポーター養成講座」

目的 団塊の世代、高齢者の社会参加意欲を喚起し、その知識・経験を社会参加活動につなげて地域の課題解決に活用することにより、生き生きとした高齢者等を増加させるとともに地域の活性化を促進する。

実施主体 新潟県教育委員会

参加対象 阿賀野市に在住する団塊世代及びその前後の市民

参加者数 20人

回数 6回 **日数** 6日 **時間** 13時間

場所 阿賀野市水原公民館他

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月28日 2時間	「乳幼児期の特性と親の気持ち」	県立新潟女子短期大学 准教授 斎藤 裕
	内容・方法	○講義「小さい子をもつお母さんの気持ち」 ～子育て中の親の心理とそのサポートのあり方について～ 主な講義内容(講義資料あり) ・育児不安について ・どうしたら、よりよいサポートができるか ・自分(自己)の生きがいを高める ○演習「乳幼児と接するために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	7月30日 2時間	「子育て支援ってどんなこと」	子育て支援施設 代表 新保まり子
内容・方法	○講義「子育て支援施設・ドリームハウス」の取組から 主な講義内容 ・ボランティアの心構え ・母親が子育て支援施設に求めたもの ・私たちができること ・施設での取組の様子をDVD視聴と説明 ○話し合い「子育て支援に取り組むために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	8月 1日 2時間	技術を高める「乳幼児にもっと本に親しませるには」	阿賀野市立図書館 司書 山寄美佳
内容・方法	○講義「乳幼児にもっと本に親しませるには」 主に講義内容 ・本の世界は夢いっぱい(乳幼児期の本の効果) ・本に親しませるやり方はこれだ ○演習「本を選んでやってみましょう」 ・ブックトーク、読み聞かせなどを実際に行って発表 ○振り返り ・本日の感想等を記入		

回	期日・時間	テーマ	講師等
4	8月 6日 2時間	施設見学1「子どもと親しもう」(風の子保育園見学)	阿賀野市風の子保育園 園長 小貫信子
	内容・方法	○講義「近年の乳幼児と親について」 主な講義内容 ・近年の乳幼児と親について感じる事 ・保育園内の見学と説明 ○演習「保育園年長児と接してみよう」 ・折り紙や絵本、じゃんけんなどを使って ○振り返り ・本日の感想等を記入	
5	8月 8日 3時間	施設見学2 「施設見学をとおして、かかわり方を学ぼう」 (ドリームハウス見学)	子育て支援施設 代表 新保まり子
	内容・方法	○講義「子育て支援施設の運営について」 主な講義内容 ・施設の運営について ・親への対応と乳幼児の安全について ○施設見学 ・かかわり方などについて、ボランティアの方と意見交換 ○振り返り ・本日の感想等を記入	
6	8月 1 1日 2時間	「子育て支援、私にできることはこんなこと」	下越教育事務所社会 教育課社会教育主事 宮本 均
	内容・方法	○ワークショップ「子育て支援、私にできることはこんなこと」 主な内容 ・振り返りシートから見えてきたこと ・ボランティアとしてできることは何か ・これからの取り組みを考える ○コーディネーターの決定 ・今後の活動を支えるコーディネーターを参加者の中から決める	

成 果 ・ 養成講座を通して、参加者一人一人がこれまでの知識や経験を子育て支援活動に生かしていこうという意識をもたせることができた。講義内容や事例に基づく施設見学、ワークショップによるまとめがよかったと思われる。養成講座終了後、コーディネーターが参加者と阿賀野市内の乳幼児をもつ親の会と連絡調整を図り、子育て支援活動(ボランティア)を実践している。

課 題 ・ 現在、行っている子育て支援活動を今後も継続するために、ボランティアとして活動している団塊世代等をはじめとした人材を集め、どのように養成していくかが課題である。また、事業実施者(企画者)の意図と講師の考えを調整するために事前の綿密な打ち合わせが必要である。
 ・ 実施市町村の理解と協力が不可欠である。

問合せ先 新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課 (担当: 宮本 均) TEL: 025-231-8362